職業実践専門課程等の基本情報について

学校名							750 0000									
専門学校YICリハビ ン大学校	リテーショ	平成19年3	月27日	乾	誠		759-0208 山口県宇部市西宇音 0836-45-1000	В南4−11−1								
設置者名		設立認可名	F月日	代表者	者名		754-0021	所在地	所在地							
学校法人YIC	学院	平成9年1月]28日	井本 🤅	浩二	(住所)	山口県山口市小郡 083-973-8111	t金町2番24号								
分野	<u>.</u>	忍定課程名		認定学科名			門士認定年度	高度専門士認定	2年度	職業実践	専門課程認定年度					
医療	医	療専門課程		理学療法学科	4		-	平成22(2010)	年度	平成	26(2014)年度					
学科の目的		は、学校教育法、理: □貢献できる心豊か			に基づき、「	医療分野に	関する知識・技術を教持	受するとともに、良識を	る社会人	として必要なう	資質を養い、地域社					
学科の特徴(主な 教育内容、取得可 能な資格 等)	取得可能な	≩資格:理学療法士	国家試験受験	食資格、高度専 Ⅰ	門士											
修業年限	昼夜	全課程の修了に必	要な総授業 単位数	時数又は総	講義	岌	演習	実習	実	験	実技					
4		※単位時間、単位いず かに記入	a,405	5 単位時間		単位時間	180 単位時間	1,455 単位時間	0	単位時間	0 単位時間					
生徒総定員	生徒実		生数(生徒実員の	単位 の内数)(B)	留学生割食	単位 合(B/A)	中退率	単位		単位	単位					
160 人	117	,	0) 人	0	%	4 %									
	■卒業者	数(C)	:	22		人										
	■就職希望	望者数 (D) 数 (E)	:	22 19		숫										
	■地元就	職者数 (F)		16		人										
	■就職率 ■就職者((E/D) に占める地元就職者	皆の割合(F/E			%										
		こ占める就職者の害		84		%										
			, 1 (2/0)	86		%										
就職等の状況	■進学者 ■その他			0		人										
	(令和		美者に関する令	計和6年5月1日	日時点の情報	1)										
		職先、業界等														
	(令和5年度															
	病院•福祉															
	病院・福祉															
☆ー≯/- レ Z	■民間の	・心政 評価機関等から第 、例えば以下について					有									
第三者による 学校評価	■民間の ※有の場合	評価機関等から第、例えば以下について 一般社	任意記載 団法人	小 去 示 压	Willester D	0000705	···	価結果を掲載した	1 //:							
	■民間の ※有の場合	評価機関等から第 、例えば以下について	任意記載 団法人	 文育評 価	受審年月:	2022年3月	···	価結果を掲載した ームページURL	https://jo	core.or.jp						
学校評価 当該学科の	■民間の ※有の場合	評価機関等から第、例えば以下について 一般社 評価団体: リハビ! 機構	任意記載 団法人 Jテーション教	炎育評価	受審年月:	2022年3月	···	価結果を掲載した ームページURL	https://jc	core.or.jp						
学校評価	■民間の ※有の場合	評価機関等から第、例えば以下について 一般社 評価団体: リハビ!	任意記載 団法人 Jテーション教	牧育評価	受審年月:	2022年3月	···	価結果を掲載した ームページURL	https://jc	core.or.jp						
学校評価 当該学科の ホームページ	■民間の ※有の場合 https://ww	評価機関等から第、例えば以下について 一般社 評価団体: リハビ! 機構	任意記載 団法人 Jテーション教	炎育評価	受審年月:	2022年3月	···	価結果を掲載した ームページURL	https://jo	core.or.jp						
学校評価 当該学科の ホームページ	■民間の ※有の場合 https://ww	評価機関等から第 例えば以下について 一般在 評価団体: リハビ! 機構 ww.yic.ac.jp/rh/cc	任意記載 団法人 Jテーション教	教育評価	受審年月:	2022年3月	···	価結果を掲載した ームページURL		core.or.jp						
学校評価 当該学科の ホームページ	■民間の ※有の場合 https://ww	評価機関等から第 例えば以下について 一般社 評価団体: リハビ! 機構 ww.yic.ac.jp/rh/cc 時間による算定) 総授業時数	だ任意記載 団法人 Jテーション者 purse/pt/	女育評価 た実験・実習・			···	価結果を掲載した ームページURL	3, 405							
学校評価 当該学科の ホームページ	■民間の ※有の場合 https://ww	評価機関等から第、例えば以下について 一般社 評価団体: リハビ! 機構 ww.yic.ac.jp/rh/cc 時間による算定) 総授業時数	T任意記載 団法人 リテーション者 purse/pt/		実技の授業		···	価結果を掲載した ームページURL	3, 405	単位時間						
学校評価 当該学科の ホームページ	■民間の ※有の場合 https://ww	評価機関等から第、例えば以下について 一般社 評価団体: リハビ! 機構 ww.yic.ac.jp/rh/cc 時間による算定) 総授業時数 うち企!	T任意記載 団法人 リテーション者 purse/pt/ 業等と連携し を を 要 を を を を 要 を を を 要 を を 要 を を を を	た実験・実習・ た演習の授業時	実技の授業 数	時数	野1日 辞水	価結果を掲載した ームページURL	3, 405 945 3, 405	単位時間単位時間単位時間						
学校評価 当該学科の ホームページ	■民間の ※有の場合 https://ww	評価機関等から第、例えば以下について 一般社 評価団体: リハビ! 機構 ww.yic.ac.jp/rh/cc 時間による算定) 総授業時数 うち企!	T任意記載 団法人 リテーション者 purse/pt/ 業等と連携し を を 要 を を を を 要 を を を 要 を を 要 を を を を	た実験・実習・	実技の授業 数	時数	野1日 辞水	価結果を掲載した	3, 405 945 3, 405	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間						
学校評価 当該学科の ホームページ	■民間の ※有の場合 https://ww	評価機関等から第、例えば以下について 一般社 評価団体: リハビ! 機構 ww.yic.ac.jp/rh/cc 時間による算定) 総授業時数 うち企動 うち必動	T任意記載 「団法人」 フーション者 Durse/pt/ 業等と連携した 変換業時数 うち企業等 うち企業等	た実験・実習・ た演習の授業時 等と連携した必 等と連携した必	実技の授業 数 修の実験・	時数 実習・実技 授業時数	野1日 辞水	価結果を掲載した	3, 405 945 3, 405	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間						
学校評価 当該学科の ホームページ URL 企業等と連携した	■民間の ※有の場合 https://ww	評価機関等から第、例えば以下について 一般社 評価団体: リハビ! 機構 ww.yic.ac.jp/rh/cc 時間による算定) 総授業時数 うち企動 うち必動	T任意記載 「団法人」 フーション者 Durse/pt/ 業等と連携した 変換業時数 うち企業等 うち企業等	た実験・実習・ た演習の授業時 等と連携した必	実技の授業 数 修の実験・	時数 実習・実技 授業時数	野1日 辞水	価結果を掲載した	3, 405 945 3, 405	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間						
学校評価 当該学科のホームページURL 企業等と連携した況(A、Bいずれか	■民間の記 ※有の場合 https://ww (A:単位	評価機関等から第、例えば以下について 一般社 評価団体: リハビ! 機構 ww.yic.ac.jp/rh/cc 時間による算定) 総授業時数 うち企動 うち必動	T任意記載 「団法人」 フーション者 Durse/pt/ 業等と連携した 変換業時数 うち企業等 うち企業等	た実験・実習・ た演習の授業時 等と連携した必 等と連携した必	実技の授業 数 修の実験・	時数 実習・実技 授業時数	野1日 辞水	価結果を掲載した	3, 405 945 3, 405	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間						
学校評価 当該学科の ホームページ URL 企業等と連携した 実習等の実施状況	■民間の記 ※有の場合 https://ww (A:単位 (B:単位	評価機関等から第、例えば以下について 一般社 評価団体: リハビ! 機構 ww.yic.ac.jp/rh/cc 時間による算定) 総授業時数 うち企動 うち必動 (うち1 数による算定)	T任意記載 「団法人」 フーション者 Durse/pt/ 業等と連携した 変換業時数 うち企業等 うち企業等	た実験・実習・ た演習の授業時 等と連携した必 等と連携した必	実技の授業 数 修の実験・	時数 実習・実技 授業時数	野1日 辞水	価結果を掲載した	3, 405 945 3, 405 945	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間						
学校評価 当該学科のホームページURL 企業等と連携した況(A、Bいずれか	■民間の記 ※有の場合 https://ww (A:単位 (B:単位	評価機関等から第、例えば以下について 一般社 評価団体: リハビ! 機構 ww.yic.ac.jp/rh/cc 時間による算定) 総授業時数 うち企動 うち必動 (うち1 数による算定)	T任意記載 団法人 Jテーション者 Durse/pt/ 業等と連携し 変響を連携し 変響を変響を変響を変響を変響を変響を変響を変響を変響を変響を変更を変更を変更を変更を変更を変更を変更を変更を変更を変更を変更を変更を変更を	た実験・実習・ た演習の授業時 等と連携した必 等と連携した必	実技の授業数の修の実験・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	時数 実習・実技 授業時数 業時数)	野1日 辞水	価結果を掲載した	3, 405 945 3, 405 945	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間						
学校評価 当該学科のホームページURL 企業等と連携した況(A、Bいずれか	■民間の記 ※有の場合 https://ww (A:単位 (B:単位	評価機関等から第、例えば以下について 一般社 評価団体: リハビ! 機構 ww.yic.ac.jp/rh/cc 時間による算定) 総授業時数 うち企動 うち必動 (うち1 数による算定)	在信記載 「団法人」 リテーション者 Durse/pt/ 業等と連携し まを変要 また業等と連携し まを変要 また業等と連携し まを変更 また業等と連携し まを変更 また業等と連携し まを変更 また業等と連携し まを変更 またまた。 またまたまた。 またまたまたまた	た実験・実習・ た演習の授業時 等と連携した必 等と連携した必 したインターン	実技の授業 数 、修の実験・ 修の演習の ・シップの授 実技の単位	時数 実習・実技 授業時数 業時数)	野1日 辞水	価結果を掲載した	3, 405 945 3, 405 945	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間						
学校評価 当該学科のホームページURL 企業等と連携した況(A、Bいずれか	■民間の記 ※有の場合 https://ww (A:単位 (B:単位	評価機関等から第、例えば以下について 一般社 評価団体: リハビリ 機構 ww.yic.ac.jp/rh/cc 時間による算定) 総授業時数 うち企動 うち必動 (うち1 数による算定) 総単位数 うち企動 うち企動 うち企動	在信記載 「団法人」 リテーション者 Durse/pt/ 業等と連携し まを変要 また業等と連携し まを変要 また業等と連携し まを変更 また業等と連携し まを変更 また業等と連携し まを変更 また業等と連携し まを変更 またまた。 またまたまた。 またまたまたまた	た実験・実習・ た演習の授業時 等と連携した必 等と連携した必 したインターン た実験・実習・	実技の授業 数 、修の実験・ 修の演習の ・シップの授 実技の単位	時数 実習・実技 授業時数 業時数)	野1日 辞水	価結果を掲載した	3, 405 945 3, 405 945	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間						
学校評価 当該学科のホームページURL 企業等と連携した況(A、Bいずれか	■民間の記 ※有の場合 https://ww (A:単位 (B:単位	評価機関等から第、例えば以下について 一般社 評価団体: リハビリ 機構 ww.yic.ac.jp/rh/cc 時間による算定) 総授業時数 うち企動 うち必動 (うち1 数による算定) 総単位数 うち企動 うち企動 うち企動	在信記載 団法人 リテーション者 purse/pt/ 業等と連携し まを楽時数 うち企業等 うち企業等 と連携し ま等と連携し ま等と連携し ないます。	た実験・実習・ た演習の授業時 等と連携した必 等と連携した必 したインターン た実験・実習・	実技の授業 参 修の実験・ 修の演習の シップの授 実技の単位	時数 実習・実技 授業時数 業時数) 数	の授業時数	価結果を掲載した	3, 405 945 3, 405 945	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間						
学校評価 当該学科のホームページURL 企業等と連携した況(A、Bいずれか	■民間の記 ※有の場合 https://ww (A:単位 (B:単位	評価機関等から第、例えば以下について 一般社 評価団体: リハビリ 機構 ww.yic.ac.jp/rh/cc 時間による算定) 総授業時数 うち企動 うち必動 (うち1 数による算定) 総単位数 うち企動 うち企動 うち企動	在信記載 団法人 Jテーション者 purse/pt/ 業等と連携し まを楽時数 うち企業等 と主携し ま等と連携し まをと連携し まをと連携し ないます。 までは ないます までは ないます。 までは ないます までは	た実験・実習・ た演習の授業時 等と連携した必 等と連携した必 したインターン た実験・実習・ た演習の単位数	実技の授業 修の実験・ 修の演習の シップの授 実技の単位 (時数 実習・実技 授業時数 業時数) 数 実習・実技	の授業時数	価結果を掲載した	3, 405 945 3, 405 945	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間						
学校評価 当該学科のホームページURL 企業等と連携した況(A、Bいずれか	■民間の記 ※有の場合 https://ww (A:単位 (B:単位	評価機関等から第、例えば以下について 一般社 評価団体: 切ハビリ 財権 ww.yic.ac.jp/rh/cc 時間による算定) 総授業時数 うち企動 うち企動 うち企動 うち企動 ジャル・シャル・シャル・シャル・シャル・シャル・シャル・シャル・シャル・シャル・シ	在任意記載 団法人 リテーション者 purse/pt/ 業等と連携した を接等と連携した を要等 を主連携した を要等 と連携した ないます。 ないまする ないます。 ないまする ないます。 ないまする ないます	た実験・実習・た演習の授業時等と連携した必はたインターンを実験・実習・たっな関係の単位数	実技の授業 数 修の実験・ 修の演習の シップの授 実技の単位 (時数 実習・実技 授業時数) 数 数 実置・実技	の授業時数	価結果を掲載した	3, 405 945 3, 405 945	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位 単位						
学校評価 当該学科のホームページURL 企業等と連携した況(A、Bいずれか	■民間の記 ※有の場合 https://ww (A:単位 (B:単位	評価機関等から第、例えば以下について 一般社 評価団体: 切ハビリ 財権 ww.yic.ac.jp/rh/cc 時間による算定) 総授業時数 うち企動 うち企動 うち企動 うち企動 ジャル・シャル・シャル・シャル・シャル・シャル・シャル・シャル・シャル・シャル・シ	在任意記載 団法人 リテーション者 purse/pt/ 業等と連携した を接等と連携した を要等 を主連携した を要等 と連携した ないます。 ないまする ないます。 ないまする ないます。 ないまする ないます	た実験・実習・ た演習の授業時 等と連携した必 等と連携した必 したインターン た実験・実習・ た演習の単位数 等と連携した必 等と連携した必 等と連携した必 等と連携した必	実技の授業 数 修の実験・ 修の演習の シップの授 実技の単位 (時数 実習・実技 授業時数) 数 数 実置・実技	の授業時数	価結果を掲載した 一ムページURL	3, 405 945 3, 405 945	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位 単位 単位 単位						
学校評価 当該学科のホームページURL 企業等と連携した況(A、Bいずれか	■民間の記 ※有の場合 https://ww (A:単位 (B:単位	評価機関等から第、例えば以下について 一般社 評価団体: 切ハビリ 開価団体: 増増 ww.yic.ac.jp/rh/cc 時間による算定) 総授業時数 うち企ま うち必動 (うち1 数による算定) 総単位数 うち企ま うち企ま うち企ま うち企ま うち必動	在 (任意記載 (日本) (日本) (日本) (日本) (日本) (日本) (日本) (日本)	た実験・実習・ た演習の授業時 等と連携した必 等と連携した必 したインターン た実験・実習・ た演習の単位数 等と連携した必 したインターン	実技の授業を修の実験・修の実験・多の演習のその実験・変数をある。	時数 実習・実技 授業時数) 数 数 実置・実技	の授業時数	価結果を掲載した	3, 405 945 3, 405 945	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位 単位 単位 単位						
学校評価 当該学科のホームページURL 企業等と連携した況(A、Bいずれか	■民間の? ※有の場合 https://w (A:単位 (B:単位	評価機関等から第、例えば以下について 一般社 評価団体: 切ハビリ 財権 ww.yic.ac.jp/rh/cc 時間による算定) 総授業時数 うち企動 うち企動 うち企動 うち企動 ジャル・シャル・シャル・シャル・シャル・シャル・シャル・シャル・シャル・シャル・シ	在任意記載 「ロ法人」 「アーションを 「はまん」 「アーションを 「ないまた」 「ないまたまた」 「ないまた」	た実験・実習・ た演習の授業時 等と連携した必 時を連携した必 したインターン た実験・実習 位数 等と連携した必 したインターン た実験が 等と連携した必 したインターン したインターン したインターン したインターン したインターン	実技の授業 参修の実験・ 修の実験・ をの演習の授 実技の単位 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 でいて、 でいて、 には、 でいて、 には、 には、 には、 には、 には、 には、 には、 には	時数 実授業時数 受業時数) 数 実単位数 位数)	の授業時数	-A~-ÿURL	3, 405 945 3, 405 945	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位 単位 単位 単位						
学校評価 当該学科のホームページURL 企業等と連携した況(A、Bいずれか	■民間の? ※有の場合 https://w (A:単位 (B:単位	評価機関等から第 (例えば以下について 一般在 ・例えば以下について 一般在 ・一般在 ・一般在 ・一般在 ・一般在 ・一般在 ・一般在 ・一般在 ・一般在 ・一般在 ・一般在 ・一般在 ・一般在 ・一般在 ・ がった。 ・ のを ・ がった。 ・ できずすのを ・ でのを ・ でのの ・ でのの ・ できずする教と当 ・ でのの ・ でのの ・ でのの ・ できずするの ・ できずするの ・ できずするの ・ できずするの ・ できずするを ・ できずするを ・ できずするの ・ できずするを ・ できずるを ・ できずるを ・ できずるを ・ できずるを ・ できずるを ・ できずるを ・ できずる ・ できずな ・ できずる ・ できずる ・ できずる ・ できできをできをできをできをできをできをできをできをできをできをできをできをでき	在任意記載 「日意記載 「日本	た実験・実習・ た演習の授業時 等と連携した必 時を連携した必 したインターン た実験・実習 位数 等と連携した必 したインターン た実験が 等と連携した必 したインターン したインターン したインターン したインターン したインターン	実技の授業 参修の実験・ 修の実験・ をの演習の授 実技の単位 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 でいて、 でいて、 には、 には、 には、 には、 には、 には、 には、 には	時数 実習・実技 授業時数) 数 数 実単位数) (専修学	の授業時数	ームページURL 第1号)	3, 405 945 3, 405 945	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位						
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等等と連携した況(A、Bいずれかに記入)	■民間の? ※有の場合 https://w (A:単位 (B:単位	評価機関等から第 「例えば以下について 「一般社」 「例えば以下について 「一般社」 「一方による 第定) 総授業時数 「うち企動 「うち企動 「うち企動 「うちん 「の担業年の限さる 「このでは、 「のの修業する限と者 「のの修業をなる 」 「このでは、 「このでは、 「このでは、 「このでは、 「このでは、 「このでは、 「このでは、 「このでは、 「このでは、 」 「このでは、 「このでは、 」 「このでは、 「このでは、 」 「このでは、 」 「このでは、 」 「このでは、 「このでは、 」 「このでは、 」 「このでは、 」 「このでは、 「このでは、 」 「このでは、 「このでは、 」 「このでは、 「このでは、 」 「このでは、 」 「このでは、 「このでは、 」 「このでは、 「このでは、 「このでは、 「このでは、 「このでは、 「このでは、 」 「このでは、 「このでは、 」 「このでは、 「このでは、 「このでは、 」 「このでは、 「このでは、 「このでは、 」 「このでは、 「このでは、 」 「このでは、 」 「このでは、 「のでは、 「いは、 「いは、 「いは、 「いは、 「い	在任意記載 「日意記載 「日本	た実験・実習・ た演習の授業時 等と連携した必 時を連携した必 したインターン た実験・実習 位数 等と連携した必 したインターン た実験が 等と連携した必 したインターン したインターン したインターン したインターン したインターン	実技の授業 参修の実験・ 修の実験・ をの演習の授 実技の単位 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 でいて、 でいて、 には、 には、 には、 には、 には、 には、 には、 には	時数 実習・実技 授業時数) 数 数 集単位数 (専修学	の授業時数 の授業時数 の単位数 校設置基準第41条第1項	ディージURL 第1号) 第2号)	3, 405 945 3, 405 945	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位 上 上 上 上 上 上 上 上 上						
学校評価 当該学科の ホームページ URL 企業等と連携施状か に記入) を製造の属性(専任) を製造していて記	■民間の? ※有の場合 https://w (A:単位 (B:単位	評価機関等から第 (例えば以下について 一般社学 (例えば以下について 一般社学 がw.yic.ac.jp/rh/co 時間による算定) 総授業時数 うち企動 うち企動 (うちが 数による算定) 数による算定) 数による算定) のかを をすする数も (うちが での修学する数も (うちが でのの修業となる でのの修業となる でのの修業となる でのの修業となる でのの修業となる でのの修業となる でのの修業となる でのの修業となる でのの修業となる でのの修業となる でのの修業となる でのの修業となる でのの修業となる でのの修業を でのの修業を でのが でのの修業を でのが でのが でのが でのが でのが でのが でのが でのが	在任意記載 「日意記載 「日本	た実験・実習・ た演習の授業時 等と連携した必 時を連携した必 したインターン た実験・実習 位数 等と連携した必 したインターン た実験が 等と連携した必 したインターン したインターン したインターン したインターン したインターン	実技の授業 参修の実験・ 修の実験・ をの演習の授 実技の単位 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 でいて、 でいて、 には、 には、 には、 には、 には、 には、 には、 には	時数 実技業時数 ・実技 業時数) 数 数 実単位数 (専修学 学学 (専修学	の授業時数 の授業時数 の単位数 を設置基準第41条第1項 校設置基準第41条第1項	ームページURL 第1号) 第2号) 第3号)	3, 405 945 3, 405 945 0	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間						
学校評価 当該学科の ホームページ URL 企業等と連携した況 (A、Bいずれか に記入)	■民間の? ※有の場合 https://w (A:単位 (B:単位	評価機関等から第 (例えば以下について 一般社 ・例えば以下について 一般社 ・一般社 ・ が、例えば以下について 一般社 ・ が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、、、、、、、、、、、、、、、、	在任意記載 「日意記載 「日本	た実験・実習・ た演習の授業時 等と連携した必 時を連携した必 したインターン た実験・実習 位数 等と連携した必 したインターン た実験が 等と連携した必 したインターン したインターン したインターン したインターン したインターン	実技の授業 参修の実験・ 修の実験・ をの演習の授 実技の単位 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 でいて、 でいて、 には、 には、 には、 には、 には、 には、 には、 には	実装 実技 実技 実持数 要	の授業時数 の授業時数 の単位数 を校設置基準第41条第1項 校設置基準第41条第1項 校設置基準第41条第1項	ディージURL 第1号) 第2号) 第3号) 第4号)	3, 405 945 3, 405 945	単位時間 単単位時間 単単位位時間 単単位位時間 単単位位 単単位位 単単位 単単位 単単位 人 人人人						
学校評価 当該学科の ホームページ URL 企業等をしましまである。 に記入) を製造していて記入 を製造していて記入 ないますが、 はいますが、 ないますが、 ないまが、 な	■民間の? ※有の場合 https://w (A:単位 (B:単位	評価機関等から第 「例えば以下について 「一般社」 「例えば以下について 「一般社」 「方面が 「うちが 「うちが 」 「うちが 「うちが 「うちが できずす限なる教と当 「うちが できずや校のの時による 「うちが できずすのは、 できずなり、 できずない。 できがい。 できがいる。 でき	在任意記載 「日意記載 「日本	た実験・実習・ た演習の授業時 等と連携した必 時を連携した必 したインターン た実験・実習 位数 等と連携した必 したインターン た実験が 等と連携した必 したインターン したインターン したインターン したインターン したインターン	実技の授業 参修の実験・ 修の実験・ をの演習の授 実技の単位 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 でいて、 でいて、 には、 には、 には、 には、 には、 には、 には、 には	実装 実技 実技 実持数 要	の授業時数 の授業時数 の単位数 を設置基準第41条第1項 校設置基準第41条第1項	ディージURL 第1号) 第2号) 第3号) 第4号)	3, 405 945 3, 405 945 0	単位時間間単単位位時間間単単位位は位は位は位は位は位は位は位は位は位は位は位は位は位は位は位は位は位						
学校評価 当該学科の ホームページ URL 企業等をしましまである。 に記入) を製造していて記入 を製造していて記入 ないますが、 はいますが、 ないますが、 ないまが、 な	■民間の? ※有の場合 https://w (A:単位 (B:単位	評価機関等から第 (例えば以下について 一般社 ・例えば以下について 一般社 ・一般社 ・ が、例えば以下について 一般社 ・ が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、、、、、、、、、、、、、、、、	在任意記載 「日意記載 「日本	た実験・実習・ た演習の授業時 等と連携した必 時を連携した必 したインターン た実験・実習 位数 等と連携した必 したインターン た実験が 等と連携した必 したインターン したインターン したインターン したインターン したインターン	実技の授業 参修の実験・ 修の実験・ をの演習の授 実技の単位 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 でいて、 でいて、 には、 には、 には、 には、 には、 には、 には、 には	実装 実技 実技 実持数 要	の授業時数 の授業時数 の単位数 を校設置基準第41条第1項 校設置基準第41条第1項 校設置基準第41条第1項	ディージURL 第1号) 第2号) 第3号) 第4号)	3, 405 945 3, 405 945 0	単位時間 単単位時間 単単位位時間 単単位位時間 単単位位 単単位位 単単位 単単位 単単位 人 人人人						
学校評価 当該学科の ホームページ URL 企業等をしましまである。 に記入) を製造していて記入 を製造していて記入 ないますが、 はいますが、 ないますが、 ないまが、 な	■民間のの ※有の場合 https://ww (A:単位	平価機関等について	在信念記載 「日意記載」 「日意記載」 「日意記載」 「日意記載」 「日本のでは、「	た実験・実習・ た演習の授業時 等と連携したか必かと したインターン た実験での を連携したかか たた演習の を連携したかった を連携したのった をした。 とを連携したのった とを連携したのった とを連携したのった とを連携したのった とを連携したのった とを連携したのった とを連携したのった とを連携したのった とを連携したのった とを連携したのった とを連携したのった とをである。 とをでも、 とをである。 とをでも、 とをでも、 とをでも、 とをでも、 とをでも、 とをでも、 とをでも とをでも とをでも とをでも とをを とを とを とを とを とを とを とを とを とを とを とを とを	実技の授業 参修の実験・修の実験・ 変技の単位 ない。 ないでは、 ない	時数 実授業時数 ・実技業時数) ・ 実対位数) ・ 事修学学・学学・学学・学学・学学・学学・学学・学学・学学・学学・学学・学学・学学・	の授業時数 の授業時数 の単位数 校設置基準第41条第1項 校設置基準第41条第1項 校設置基準第41条第1項 校設置基準第41条第1項	第1号) 第2号) 第3号) 第3号) 第5号)	3, 405 945 3, 405 945 0	単位時間間単単位位時間間単単位位は位は位は位は位は位は位は位は位は位は位は位は位は位は位は位は位は位						
学校評価 当該学科の ホームページ URL 企業等をしましまである。 に記入) を製造していて記入 を製造していて記入 ないますが、 はいますが、 ないますが、 ないまが、 な	■民間のの	平価機関等について	在 (た実験・実習・ 実演習の授業時 等と連携した必と きと連携したのと を実験である。 を実験である。 をと連携したのと をと連携したのと を連携したのと をである。 である。 はで期間とをも はております。 は、でものである。 は、でものでものである。 は、でものでものである。 は、でものでものでものでものである。 は、でものでものでものでものでものでものでものでものでものでものでものでものでもので	実技の授業 参修の実験・修の実験・ 変技の単位 ない。 ないでは、 ない	時数 実授業時数 ・実技業時数) ・ 実対位数) ・ 事修学学・学学・学学・学学・学学・学学・学学・学学・学学・学学・学学・学学・学学・	の授業時数 の授業時数 の単位数 を校設置基準第41条第1項 校設置基準第41条第1項 校設置基準第41条第1項	第1号) 第2号) 第3号) 第3号) 第5号)	3, 405 945 3, 405 945 0 0	単位時間間単単位位時間間単単位位は位は位は位は位は位は位は位は位は位は位は位は位は位は位は位は位は位						

- 1. 「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課 程の編成を行っていること。」関係
- (1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本
- ・日々進歩する業界の知識・技術に対応するため、実際に臨床業務に携わっている理学療法士を教育課程編成委員として 登用し、専門性に関する動向や医療・介護業界の方向性についての意見交換等を通じて実践的な職業教育の質を確保す
- (2)教育課程編成委員会等の位置付け
- ※教育課程の編成に関する意思決定の過程を明記
- ・「学校法人YIC学院は、設置する専門学校各校の各学科に、専門性に関する動向や地域産業振興の方向性等について 意見交換等を通じて、より実践的な職業教育の質を確保することを目的とした委員会を置く。」(学校法人 YIC学院 教育課 程編成委員会規程第2条より)
- ・カリキュラムは、教育課程編成委員会の意見等を参考に、学内教育課程カリキュラム編成委員会において編成する。教職 員会議での検討を経た後、理事会の承認を受け最終決定。
- ・授業内容・方法の改善・工夫等については、教育課程編成委員会の意見を参考に、可及的速やかに対応する。

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和6年8月31日現在

名 前	所 属	任期	種別
綿谷 昌明	一般社団法人 山口県理学療法士会 理事	令和5年4月1日~令和7年3月 31日(2年)	1
金井 和明	山口大学医学部附属病院 リハビリテーション科	令和5年4月1日~令和7年3月 31日(2年)	3
米沢 智史	独立行政法人労働者健康安全機構 山口労災病院	令和5年4月1日~令和7年3月 31日(2年)	3
乾 誠	専門学校YICリハビリテーション大学校 校長	令和5年4月1日~令和7年3月 31日(2年)	-
藤井 昭宏	専門学校YICリハビリテーション大学校 副校長	令和5年4月1日~令和7年3月 31日(2年)	-
加藤 善範	専門学校YICリハビリテーション大学校 教務主事	令和5年4月1日~令和7年3月 31日(2年)	_
島本 祐嗣	専門学校YICリハビリテーション大学校 理学療法学科 学科長	令和5年4月1日~令和7年3月 31日(2年)	_

- ※委員の種別の欄には、企業等委員の場合には、委員の種別のうち以下の①~③のいずれに該当するか記載すること。 (当該学校の教職員が学校側の委員として参画する場合、種別の欄は「一」を記載してください。)
 - ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、 地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
 - ②学会や学術機関等の有識者
 - ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員
- (4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

(年間の開催数及び開催時期)

年2回 (6月、2月 ※予定)

(開催日時(実績))

第1回 令和5年6月28日 16:30~17:30 第2回 令和6年1月31日 16:30~17:30

- (5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況
- ※カリキュラムの改善案や今後の検討課題等を具体的に明記。
- ・実習先の確保と学習について
- 教育課程と取り組みについて
- 国家試験対策について

2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係

- (1)実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針
- ・山口県内の病院・施設を中心に、実習指導者講習会を修了し、3年以上の臨床経験をもつ理学療法士が指導に当たれる 施設を選定している。
- ・学生の興味分野や就職希望分野(進路)も踏まえ、実習指導者との連携がとれる施設を選定している。
- ・各施設の理学療法部門において職場の業務スケジュールに従って実習する。指導者の監督の下、各学年の習得レベル に応じて見学・実習を行い理学療法の一連の過程を理解させる。
- (2)実習・演習等における企業等との連携内容
- ※授業内容や方法、実習・演習等の実施、及び生徒の学修成果の評価における連携内容を明記
- ・実習施設から「実習施設承諾書」「実習施設に関する調書」を得ている。
- ・毎年度、各学年の習得レベルに応じた「臨床実習ガイドブック」を作成・配布し、実習の方法・成績評価の方法について実 習指導者・教員・学生間で共有している。
- ・年1回、臨床実習指導者会議(オンライン)を開催し、実習方法等について協議する。・実習期間中は教員が電話あるいは訪問して状況確認を行い、問題があれば対応について協議する。実習指導者が記入 する成績評価表と、実習終了後に行う報告会での報告内容を踏まえ、教員が最終成績評価・単位認定を行う。

(3)具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科目名	企業連携の方法	科目概要	連携企業等
臨床実習I	3. 【校外】企業内実習 (4に該当するものを 除く。)	日常生活活動の概念を認識し、必要な知識と評価の手法、実際の訓練方法や自助具および福祉機器 の基礎知識、使用方法などを習得する。	
臨床実習Ⅱ	3. 【校外】企業内実習 (4に該当するものを 除く。)	より実践的な日常生活活動への理 学療法アプローチを学習する。	宇部興産中央病院 萩市民病院 周東総合病院 柴田病院 光中央病院 等(計24施設)
地域実習	3. 【校外】企業内実習 (4に該当するものを 除く。)	切断、義手、義足、上肢装具、体幹装具、下肢装具など補装具の理解を深め、補装具の取り扱いや装着・操作方法を習得する。	尾中病院 宇部リハビリテーション病院 山口平成病院 周南リハビリテーション病院 柴田病院 等(計12施設)
臨床実習Ⅲ	3. 【校外】企業内実習 (4に該当するものを 除く。)	物理療法の効果・メカニズム・対象 となる病態について学習する。 病態別の物理療法プログラム立案 を学ぶ。	宇部興産中央病院 萩市民病院 周東総合病院 柴田病院 光中央病院 等(計32施設)
スポーツ理学療法学	催するインターンシッ	各種神経障害に関する一般的な診断・評価・治療法を学習する。ロボットリハビリテーションについて学習する。 症例検討を実施する。	山口県障がい者スポーツ協会

3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1)推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針

※研修等を教員に受講させることについて諸規程に定められていることを明記

- ・YICグループ教職員研修規程に基づき計画的に研修を実施している。
- ・教員業務に携わるにあたり、一般社団法人全国リハビリテ-ション学校協会が実施する「理学療法士作業療法士専任教員 養成講習会」の受講を推奨する。ただし長期講習のため交替で派遣。
- ・理学療法専門領域の知識・技術向上のため、関連学術団体が主催する各種学会・研修会・勉強会への参加、大学院通修
- ・日々進歩する業界の知識・技術に精通するため、半日/週程度の臨床勤務を兼務することを許可する。

(2)研修等の実績

①専攻分野における実務に関する研修等

連携企業等: 日本理学療法士協会 研修名: 理学療法の基礎知識

対象: 日本埋字療法士協会 2023年7月3日 期間:

理学療法の基礎知識について学ぶ 内容

理学療法士が身につけるべき医療倫理と医療安全 連携企業等: 日本理学療法士協会 研修名:

対象: 日本埋字療法士協会 期間: 2023年7月4日

医療倫理と医療安全について学ぶ 内容

脳卒中・循環器病対策基本法と理学療法 連携企業等: 日本理学療法士協会 研修名:

対象: 日本理字療法士協会 2023年7月4日

期間:

内容 脳卒中・循環器病対策基本法について学ぶ

②指導力の修得・向上のための研修等

連携企業等: 学校法人YIC学院 研修名: 令和5年度YIC教職員研修(夏季)

期間: 2023年8月21日 対象: YICグループ教職員

内容 情報セキュリティについて学ぶ

連携企業等: 学校法人YIC学院 研修名: 令和5年度YIC教職員研修(冬季)

2023年12月25日 対象: YICグループ教職員 期間:

統計学について学ぶ 内容

連携企業等: 学校法人YIC学院 令和5年度YIC教職員研修(冬季) 研修名:

期間: 2023年12月27日 対象: YICグループ教職員

内容 著作権について学ぶ (3)研修等の計画

①専攻分野における実務に関する研修等

研修名: 第16回日本運動器疼痛学会 連携企業等:日本運動器疼痛学会

対象: 理学療法士等

期間: 2024年11月

内容 運動器障害の知識を学ぶ

研修名: パラスポーツトレーナースキルアップ研修会 連携企業等:日本パラスポーツ協会

期間: 2024年11月 対象: バラスホーツトレー 対象: ナー

内容 障がい者スポーツに関する理学療法を学ぶ

研修名: 第1回リハビリテーション医療DX研究会学術集会 連携企業等: リハビリテーション医療DX研究会

期間: 2024年4月 対象: 理学療法士等

内容 リハビリテーション医療におけるデジタルトランスフォーメーションを学ぶ

②指導力の修得・向上のための研修等

研修名: 第12回 日本理学療法教育学会学術大会 連携企業等:日本理学療法教育学会

期間: 2024年12月 対象: 理学療法士

内容 教育活動のスキルを学ぶ

研修名: 全専研大会(東京) 連携企業等: 全国専門学校教育研究会

期間: 2025年2月 対象: 専修学校関係者等

内容専門学校における教育、経営手法の情報交換

研修名: 令和6年度現職教員研修会 連携企業等: リハビリテーション医療DX研究会

期間: 2024年8月 対象: 理学療法士等

内容 職業教育を行う上で必要な指導方法等について学ぶ

- 4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。 また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係
- (1)学校関係者評価の基本方針
- ・学校関係者評価委員会において、本校が行う自己点検評価の結果と根拠を示し、とくに当該年度の重点項目を中心に意 見等をまとめ報告書を作成していただく。
- ・学校関係者評価委員会からの報告書に基づいて本校の自己点検評価を見直し、次年度の改善計画における重点項目を 決定する。これらについて年報・ホームページ等で公表する。 (2)「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1)教育理念·目標	1 建学の精神・教育理念、教育目的・教育目標
(2)学校運営	7 管理運営 9 改革・改善
(3)教育活動	2 教育の内容
(4)学修成果	4 教育目標の達成度と教育効果
(5)学生支援	5 学生支援
(6)教育環境	3 教育の実施体制
(7)学生の受入れ募集	5 学生支援
(8)財務	8 財務
(9)法令等の遵守	7 管理運営
(10)社会貢献・地域貢献	6 社会的活動
(11)国際交流	
(V/4 a) カッド/4 4 1	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)学校関係者評価結果の活用状況

本校で実施した自己点検評価・改善計画を学校関係者評価委員会に提出し、意見・協議結果をもとに学校機能評価報告を まとめ、年報・ホームページで公開する。改善計画にもとづき学校運営や教育の改善を計画的に行う。 令和5年度改善計画の重点項目として以下の3つを挙げた。

(1)定員充足

(2) 国家試験合格率100%達成, 国家試験対策教育の充実

(3)データ管理に関するマニュアル作成

(4)学校関係者評価委員会の全委員の名簿

名 前	所属	任期	種別
内海 富枝		令和5年4月1日~令和7年3月 31日(2年)	PTA
	リハビリテーション科	令和5年4月1日~令和7年3月 31日(2年)	卒業生
大野 具理士	リハビリテーション室	令和6年4月1日~令和7年4月 1日(1年)	卒業生
	介護老人保健施設寿光園	31日(2年)	企業等委 員
綿谷 昌明		令和5年4月1日~令和7年3月 31日(2年)	企業等委 員

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

(例)企業等委員、PTA、卒業生等

(5)学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

(ホームページ・)広報誌等の刊行物 ・ その他())

URL: 公表時期: https://www.yic.ac.jp/rh/disclosure/

会議後1ヶ月以内

- 5.「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に 関する情報を提供していること。」関係
- (1)企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の趣旨に則り、原則として、ガイドラインが推奨する内容(提 供する情報の項目例)全てについて、ホームページ上にて情報提供する。

(2)「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1)学校の概要、目標及び計画	学校の概要、目標及び計画
(2)各学科等の教育	各学科(コース)等の教育
(3)教職員	教職員
(4)キャリア教育・実践的職業教育	キャリア教育・実践的職業教育
(5)様々な教育活動・教育環境	様々な教育活動・教育環境
(6)学生の生活支援	学生生活支援
(7)学生納付金・修学支援	学生納付金・修学支援
(8)学校の財務	学校の財務
(9)学校評価	学校の評価
(10)国際連携の状況	国際連携の状況
(11)その他	その他

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)情報提供方法

(ホームページ・)広報誌等の刊行物 ・ その他(

))

URL: https://www.yic.ac.jp/rh/disclosure/ 毎年5月~7月

公表時期:

授業科目等の概要

			医療		門課程 理学療法	授耒科日寺の做安 生学科)				揺	9業-	方法	坦	所	教	昌	
数数							当		単			実				兼	企業等
1 ○ 基礎科学			択必	由選	授業科目名	授業科目概要	次 ·										と の
○ 基礎科学		修	修	択				数	数	義	習		内	外	任	任	連携
10 日本語本の選挙を要称する。自己理解	1	0			基礎科学	したがって行われる。自然のしくみがどう なっているのか、物理学、化学の基礎事項		30	2	0			0			0	
1 ○ 情報処理	2	0			心理学	人間の心と行動の基礎を理解する。自己理解、他者理解を深め、医療チームという社会集団の中で活かせるようになることを目		30	2	0			0			0	
本 ○ スキル強 期面に応じたコミュニケーションができると 前	3	0			情報処理	法を習得し、応用技術としての文書処理 (Word)、計算処理(Excel)、プレゼンテー		30	2	0			0			0	
10	4	0			ソーシャル スキル論	場面に応じたコミュニケーションができる ようになる。相手の意見や考えを正確に受		30	2	0			0			0	
日本組表現法 第25000000000000000000000000000000000000	5	0			英語	際語 (英語) による総合的なコミュニケー ション能力を高める		30	2	0			0			0	
日本の 日本	6	0			日本語表現法	になる。レポートの書き方、小論文の書き 方等パターンを知り、書くことができるよ うになる。		30	2	0			0		0		
	7	0			医療倫理学	について学習する。医療者と病者・その家 族の関係のあり方、そこに見いだされる倫		30	2	0			0			0	
9	8	0			解剖学			0	10	0			0		0	0	
	9	0			解剖学実習	体構造と機能を学習する。器官、器官系の 観察、評価・治療の指標となる骨、筋を正確に触知できるようになる。		30	1			0	0	0	0		
11 ○ 連動学実習 するために、機能解斜と運動やして機能を 後 30 1 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	10	0			運動学	て、姿勢・歩行について学ぶ。解剖学・生 理学を基礎として関節運動に関わる身体の		60	4	0			0		0	0	
12	11	0			運動学実習	するために、機能解剖と運動そして機能を 実技で学習する。		30	1			0	0	0	0		
13	12	0			生理学	する。生理学的反応や神経系の働き、骨格 筋の構造、収縮メカニズムなどを理解す		##	8	0			0			0	
14 ○ 発達学 の発達を学ぶ。幼児期末での各発達の段階 2 2 2 2 2 3 3 2 2 3 3	13	0			生理学実習	情報から人体の機能を評価できるようにな る。		30	1			0	0		0	0	
解する上での基礎となっている。病理学は 病気の原因とその成型解する学問であり、 業理学は病気気気な悪態を生体への作用を理解する学問であり、 業理学は会型を発素の学問である。また、学 前 理解する学問である。理学療法学・作業療法学を学ぶ。学生においてに、これら病理 学、薬理学、栄養学の基本的概念を理解 し、それらの知識を常に念頭において医療 が出来るようにする。 臨床裏習 (評価東留) では検査測定実施に 加え関連他門からの体像をとらる透過機 2 わる者に必要な関連情報しいのできぶ。またリー のと学習する リハビリテーションの概念をどこる過程機 2 わる者に必要な関連情報していて学び、またリー ついて理解を深める。 17 ○ 連動器障害学 各種整形外科疾患の病態について学び、治 療法の概要について学が、変力に、内科の主な疾患の病態について学び、強力 療法・作業療法を行う上で必要な基礎知識を身につける。 神経内科学について基本的な知識を習前 を身につける。 神経内科学について基礎的事項を学ぶ。中 権和神経を注解神経の無理に対し内科のに治 療法・作業療法を行う上で必要な基礎知識 を身につける。 神経科科学について基礎的事項を学ぶ。中 権和神経を実施学の連携を変して対した。 療法を発表とで行う上で必要な基礎知識 を身につけて理解する 作業療法士としていて運解なより、作業療法との代表 関連について理解する。 作業療法士・理学療法士にとって重要な精 関連を別の機能についての基本的な知識を習前 の基础の特性を学び、理学療法、作業療法とり、 検査である。 17 ○ 臨床心理学 ここの健康を援助するための臨床心理学 との基础の特性を学び、理学療法、作業療法とり、前 の流域の特性を学び、理学療法、作業療法とり、前 の流域の表を習得する。 18 ○ リハビリテーションの概念、IGの概念、関 リハビリテーションの概念、IGの概念、関 リハビリテーションの概念、IGの概念、関 リルビリテーションの概念とIGの概念と図得する。 リルビリテーションの概念とIGの概念と図得する。 リルビリテーションの概念をと図得する。またし、 リルビリテーションの概念とIGの概念を図得する。 リルビリテーションの概念を必要をを把握し、リハビリテーションの概念を図得する。 リルビリテーションの概念を必要をを把握していて基本 リルビリテーションの概念を必要を把握を リルバビリテーションの概念を必要をを把握していて基本 リルビリテーションの概念を必要をを把握し、リルビリテーションの概念を必要をを把握をを リルバビリテーションの概念を必要をとまるの優 リルバビリテーションの概念を必要をとまるの優 リカルにのいての概要とと、をの優 リルバビリテーションの概念を必要をと、をの優 地域リハビリリ地域リハビリテーションの概要とと、その優 地域リハビリリ地域リハビリアーションの概要とと、その優 地域リハビリ・地域における作業療法士・理学療法士の役割 地域リハビリ・地域リハビリ・地域リカー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	14	0			発達学	の発達を学ぶ。幼児期までの各発達の段階 が理解する。臨床場面で多くみられる各疾 患の発達の特徴を知る。	2 前	30	2	0			0			0	
加え関連他部門からの情報やカルテ情報の収集により患者様の全を与える過程を学習する。リハビリテーション医療に携生物値等)の見方や解釈について学ぶ。またリハビリテーションの振成は整理を学習を整定を学習する。リハビリテーション医療に携金値等)の見方や解釈について学ぶ。また、担前が関係を与したの概要に回いて学ぶ、非常に、内部障害学の療法の概要について学ぶ、地域を持ちたいのでは、内部障害学の療法の概要について学ぶ、理知を表して、内部障害学を療法・作業療法を行うために、内科の主な疾患の病態、症疾、さらに教療、診断、治療などに関して学び、理知能を身につける。 18 ○ 内部障害学を療法・作業療法を行うために、内科の主な疾患の病態、症疾、さらに教療、診断、治療などに関して学び、理知能を身につける。 18 ○ 神経障害学を療法・作業療法を行うために、内部障害学を療法・作業療法を行うとで必要な基礎知識を身につける。 18 ○ 神経障害学を持ちるに関して学び、理知能を表してつける。 19 ○ 神経障害学を持ちる医療、理学療法・作業療法との関連について理解する。 作業療法士・理学療法士・作業療法により、関連に対し内科的に治療・変の診断と治療・理学療法・作業療法との関連について理解する。 19 ○ 精神医学の基礎的な考え方と実践方法、また疾患や2 後立てる。 20 ○ 「特神医学の基礎的な考え方と実践方法、また疾患や2 後立てる。 リハビリテーションの概念、ICFの概念、関りの抗概を管理する。 いたが表していて基本的の対象を発生を対していて基本的の対象を表出に関して作業療法士・理学療法・理判を表出として必要かり基本的な知識を習明のいて学ぶ、また、主要な対象疾患に関して作業療法士・理判療法士の役割がより、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、	15	0				解する上での基礎となっている。病理学は 病気の原因とその成り立ちを追求する学問であり、 原気の原因とその成り立ちを追求する学問であり、 来理学は病気になる原因をもとに薬の生体 巻学は食品や栄養素の生体の中での働きを 理解する学問である。また、き 理解する学問である。また、さ を と で と で と で と で と 学 と 学 と 学 と 学 と 学 と 学	2 前	30	2	0			0			0	
18	16	0				加え関連他部門からの情報やカルテ情報の 収集により患者様の全体像をとらえる過程 を学習する。リハビリテーション医療に携 わる者に必要な関連情報(画像や臨床検査 の見方や解釈について学ぶ。またリ ハビリテーション職に必要な教命・予防に		30	2	0			0			0	
「に、内科の主な疾患の病態、症候、さらに 2 前 30 2 ○ (株舎、診断、治療などに関して学び、理学 2 前 30 2 ○ (株舎、診断、治療などに関して学び、理学 2 前 30 2 ○ (株舎、診断、治療などに関して学び、中 権権 2 前 30 2 ○ (株舎、診断、治療などの・ 中 後 2 前 30 2 ○ (株舎、診断、治療などの・ 中 後 2 前 30 2 ○ (株舎、総本・作業療法・作業療法との (株舎、総本・ 中 本 を 2 前 30 2 ○ (株舎、総本・ 中 本 を 2 前 30 2 ○ (株舎・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	17	0			運動器障害学	療法の概要について学ぶ		30	2	0			0		0		
19 ○ 神経障害学	18	0			内部障害学	に、内科の主な疾患の病態、症候、さらに 検査、診断、治療などに関して学び、理学 療法・作業療法を行う上で必要な基礎知識		30	2	0			0			0	
20	19	0			神経障害学	枢神経と末梢神経の疾患に対し内科的に治療する臨床医学の一部門である。代表的疾 患の診断と治療、理学療法・作業療法との		30	2	0			0			0	
21 ○ 臨床心理学	20	0			精神医学	神医学的知識についての基本的な知識を習 得する。		30	2	0			0			0	
ション概論	21	0			臨床心理学	の基礎的な考え方と実践方法、また疾患や 障害の特性を学び、理学療法、作業療法に 役立てる。		30	2	0			0			0	
23 O	22	0				の流れ、地域保健と福祉などについて基本 的な概念を習得する。		30	2	0			0		0		
24 ○ □□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□	23	0				リテーションの流れについて学ぶ。また、 主要な対象疾患に関して作業療法士・理学		30	2	0			0		0		
で関わり方について字が ""	24	0			地域リハビリ テーション論	世における作業療法士・理学療法士の役割		30	2	0			0		0		

25	0	理学療法概論	理学療法士に求められる資質や適性・基本 的態度を理解する。近年の医療情勢や理学 療法の位置づけを理解する。理学療法の基 磁砂理論、法律、対象に関する理解、管 理・運営等を学ぶ。	<u>.</u>	30	2	0			0		0		
26	0	臨床運動学	基本動作・歩行動作が遂行可能となるメカ ニズムや、その条件などを力学的観点から 習得する。主な疾患・障害の基本動作分析・歩行動作分析とその記述を習得する。	3	60	4	0			0		0		
27	0	研究法	研究の流れや、研究に必要な基本的知識・ 技術を修得する。	3 前	60	4	0			0			0	
28	0	理学療法管理 学	理学療法分野における管理の概念と方法論 とを広義に理解・認識する。	3 後	30	2	0			0		0		
29	0	理学療法評価 法	理学療法における評価の基本的視点と流れ を学習した上で、患者情報の収集、各種検 査・測定技術を習得する。	1 後 2 前	60 60	4	0			0		0		
30	0	理学療法 評価法実習	疾患別の理学療法評価を理解する。具体的 な事例を通して理学療法評価の流れを理解 する。	2 後 3 通	30 60	1			0	0		0		
31	0	日常生活活動	日常生活活動の概念を認識し、必要な知識と評価の手法、実際の訓練方法や自助具および福祉機器の基礎知識、使用方法などを習得する。	2 後	30 30	2	0			0		0		
32	0	日常生活活動実習	より実践的な日常生活活動への理学療法ア ブローチを学習する。	2 前 3 前	30 30	1			0	0		0		
33	0	義肢装具学	切断、義手、義足、上肢装具、体幹装具、 下肢装具など補装具の理解を深め、補装具 の取り扱いや装着・操作方法を習得する。 実際の義放や装具を用いなから基本事項理	2 後	60	4	0			0		0		
34	0	義肢装具学実 習	解し、模擬症例の装具療法を検討・討議する。 切断者の基本的なリハビリテーション実技 大型組する	3 前	30	1			0	0		0		
35	0	物理療法	物理療法に必要な基礎知識と、物理エネル ギーが生体に及ぼす効果を理解する。物理 療法の適応と禁忌を正しく理解し、また安 全に機器を扱え、施行できる技術を学ぶ。	2 通	60	4	0			0		0		
36	0	物理療法実習	物理療法の効果・メカニズム・対象となる 病態について学習する。 病態別の物理療法プログラム立案を学ぶ。	3前	30	1			0	0		0		
37	0	運動療法概論	運動療法を実施するために医療的根拠に基 づいた適切な方法を学ぶ。 運動療法を学んだうえで疾患別・障害別の 特徴と方法を学ぶ。	1後2前	30 30	2 2	0			0		0		
38	0	骨関節障害理 学療法学	療について習得する。	3 前	60	4	0			0		0	0	
39	0	神経障害理学療法学	各種神経障害に関する一般的な診断・評価・治療法を学習する。ロボットリハビリテーションについて学習する。 症例検討を実施する。	2 通 3 前	90	6	0			0		0	0	
40	0	内部障害理学 療法学	呼吸器機能の構造・評価方法と、病態別の リハビリテーションブログラムを学習す る。	2後3前	60	4	0			0		0	0	
41	0	スポーツ理学 療法学	障がい者がスポーツにおける理学療法士の 役割を学習する。スポーツ傷害について、 部位別・競技別にその特徴を習得する。	2 後 3 前	60	4	0			0		0		0
42	0	骨関節障害理 学療法学実習	運動器疾患に対する基礎的知識、治療的介入の組み立て方について実践的に学ぶ。 IDストレッチング、PNF等の手技について学 ぶ。	3 通	60	2			0	0			0	
43	0	神経障害理学療法学実習	脳卒中、脊髄損傷、小児神経疾患に関する 診断・評価・治療技術を習得する。	3 通	60	2			0	0			0	
44	0	内部障害理学 療法学実習	代表的な内部疾患に対する評価および治療プログラムの立案を学習する。	3 通	60	2			0	0		0	0	
45	0	スポーツ理学療法学実習	ディショニング (テーピングを含む) を実 施する。		30	1			0	0			0	
46	0	生活環境論	住環境整備のために必要な基礎知識および 基本技術を学ぶ。障害モデルごとの住環境 整備のポイントを学習する。住環境整備に 関わる制度・社会背景を学ぶ	1 後	30	2	0			0		0		
47	0	地域理学療法学	地域理学療法に必要な課題分析の方法サービスやブログラムの立案を学ぶ。 が護保険領域や介護予防分野での理学療法 の意義、目的、内容を学ぶ。 クリニカル・クラークシップ形式の実質の	3 通	60	4	0			0		0	0	
48	0	臨床実習I	もと、診療参加を経験しなから、埋字療法 士を目指す目的意識を一層強固なものにす ることができる。 実習前に1年次・2年次前 期に履修した専門基礎科目・専門科目の復	2 前	45	1	0			0		0	0	0
49	0	臨床実習Ⅱ	関考行力ル・ソラークンップ形式の美官のもと、診療参加を経験しながら、各疾患において用いられる評価を経験し、評価技術を身に付けるとともに各評価の意義を学	後	##	3		0		0		0	0	0
50	0	臨床実習Ⅲ	グリーカル・クラークンツノ形式の美質の もと、診療参加を経験しながら、各疾患に おいて用いられる治療を経験し、治療技術 を身に付けるとともに各治療の意義を学	**	##	16		0			0	0	0	0
51	0	地域実習	医療人を志すにふさわしい自主性、積極性、社会性を養うとともに通所リハ、訪問リハの機能を理解し、役割と意義を学ぶ。	3 後	45	1		0			0	0	0	0
52	0	理学療法セミナー	a	1 後	30	1	0			0		0		
53	0	臨床実習セミ ナーI	臨床実習では、病態への理解や理学療法動 評価・治療の実施に際して、解剖学・連理学などの基礎医学における前提知 識が必要不可欠である。 本セミナーでは 最初を要不可欠である。 本セミナーではは 野家試験対策基礎講座として、過去問題 第二に未ずでに履修した基礎医学系の理解度を確認し、知識の補填と、学習の 法を習働する。	2 後	30	1		0		0		0		

5	4	0		臨床実習セミ ナーⅡ	臨床実習に赴くにあたり、臨床現場で必 となる感染予防等のリスク管理、また教 救急法、喀痰吸引法について学ぶ。	, ap	3 後	30	1		0		0		0		
5	5	0		臨床実習セミ ナーⅢ	理学療法評価法や運動療法などの専門科における前提知識が必要不可欠。本セナーでは、これまでに履修した専門科目知識の理解度を確認し、知識の補填を	ミの	4 前	30	1		0		0		0		
5	6	0		国家試験対策 セミナー	4年間で学習した知識を網羅的に整理し、 家試験に対応できる能力を身につける。		4 後	60	2	0			0		0		
			合	<u>8</u> +		56	科	目		1	62 (3405)	単位	й (.	単位	時間	1)

	卒業要件及び履修方法	授業期間等	Ē
卒業要件:	修業年限4年以上在学し、全科目の履修認定試験の成績が可以上であること	1 学年の学期区分	2 期
履修方法:	出席時数が講義科目においては授業時数の3分の2以上、演習及び実習 科目においては5分の4以上であること	1 学期の授業期間	15 週

⁽留意事項)
1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
2 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。